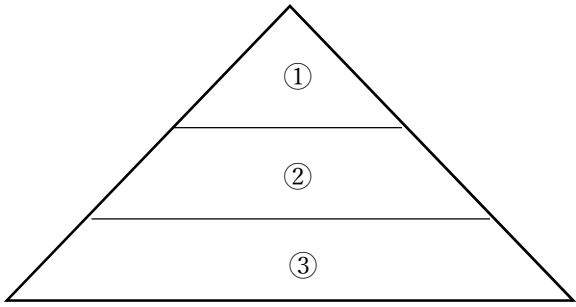


2. コンピュータの技術要素

2. 3 情報セキュリティ（情報セキュリティ管理）

問題 1

情報セキュリティの文書を詳細化の順に、右の図のように上から並べた場合、①～③に当てはまる用語の組合せとして、適切なものはどれか。



	①	②	③
ア	基本方針	対策基準	対策実施手順
イ	基本方針	対策実施手順	対策基準
ウ	対策基準	基本方針	対策実施手順
エ	対策基準	対策実施手順	基本方針

問題 2

情報セキュリティにおける“可用性”の説明として、適切なものはどれか。

- ア. システムの動作と出力結果が意図したものであること
- イ. 情報が正確であり、改ざんされたり破壊されたりしていないこと
- ウ. 許可された利用者が、必要なときに情報をアクセスできること
- エ. 許可されていないプロセスに対して、情報を非公開にすること

問題 3

ISMS の運用において、監査結果をインプットとし、ISMS を継続的に改善するための是正処置及び予防処置を行うプロセスは PDCA サイクルのどれにあたるか。

- ア. P イ. D ウ. C エ. A

問題 4

リスクマネジメントにおいて、リスクを資産ごとに洗い出すものはどれか。

- ア. リスク対策 イ. リスク特定 ウ. リスク評価 エ. リスク分析

問題 5

組織で策定する情報セキュリティポリシーに関する記述のうち、最も適切なものはどれか。

- ア. 情報セキュリティ基本方針だけでなく、情報セキュリティに関する規則や手順の策定も経営者が行うべきである
- イ. 情報セキュリティ基本方針だけでなく、情報セキュリティに関する規則や手順の策定も社外に公開することが求められる。
- ウ. 情報セキュリティに関する規則や手順は組織の状況にあったものにすべきであるが、最上位の情報セキュリティ基本方針は業界標準の雛形をそのまま採用することが求められる。
- エ. 組織内の複数の部門で異なる情報セキュリティ対策を実施する場合でも、情報セキュリティ基本方針は組織全体で統一させるべきである。

問題 6

組織の活動に関する記述 a～d のうち、ISMS の特徴として、適切なものだけを全てあげたものはどれか。

- a. 一過性の活動ではなく改善と活動を継続する。
- b. 現場が主導するボトムアップ活動である。
- c. 導入及び活動は経営層を頂点とした組織的な取り組みである。
- e. 目標と期限を定めて活動し、目標達成によって終了する。

- ア. a, b イ. a, c ウ. b, d エ. c, d

問題 7

ISMS におけるセキュリティリスクへの対応には、リスク移転、リスク回避、リスク受容及びリスク低減がある。リスク回避に該当する事例はどれか。

- ア. セキュリティ対策を行って、問題発生の可能性を下げた。
- イ. 問題発生時の損害に備えて、保険に入った。
- ウ. リスクが小さいことを確認し、問題発生時は損害を負担することにした。
- エ. リスクの大きいサービスから撤退した。

2. 3 情報セキュリティ（情報セキュリティ対策）

問題 1

社内の情報セキュリティ教育に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. 再教育は、情報システムを入れ替えたときだけ実施する。
- イ. 新入社員へは、業務に慣れた後に実施する。
- ウ. 対策は、情報資産にアクセスする社員だけにする。
- エ. 内容は、社員の担当業務、役割及び責任に応じて変更する。

問題 2

バイオメトリクス認証の例として、適切なものはどれか。

- ア. 本人だけが知っているパスワードで認証する。
- イ. 本人だけがもっている身分証明書で認証する。
- ウ. 本人の指紋で認証する。
- エ. ワンタイムパスワードを用いて認証する。

問題 3

ウイルス対策ソフトの適切な運用方法はどれか。

- ア. インストールした時に一度だけ、ハードディスク全体を検査する。
- イ. ウイルス対策ソフトは、ウイルス検査を行うときにだけ起動する。
- ウ. 導入後もウイルス定義ファイルの更新を継続して行う。
- エ. プロバイダ側でウイルスチェックが行われている場合は、PC へのウイルス対策ソフトの導入は不要である。

問題 4

プログラムによる自動投稿を防止するために、画面に表示された歪んだ文字や数字を入力させる仕組みはどれか。

- ア. 画像認証（CARTCHA）
- イ. コンテンツフィルタ
- ウ. 電子透かし
- エ. バイオメトリクス認証

問題 5

セキュリティ対策の目的①～④のうち、適切なアクセス権を設定することによって効果があるものだけを全て挙げたものはどれか。

- ①DoS 攻撃から守る。
- ②情報漏えいを防ぐ。
- ③ショルダハッキングを防ぐ。
- ④不正利用者による改ざんを防ぐ。

- ア. ①, ②
- イ. ①, ③
- ウ. ②, ④
- エ. ③, ④

問題 6

生体認証による入退室管理システムに全社員を登録し、社内の各部屋に入室を許可する社員を設定した。退室は管理していない。a～d の記述のうち、この入退室管理システムで実現できることだけを全て挙げたものはどれか。

- ①権限のある社員だけに入室を許可する。
- ②入室者が部屋にいた時間を記録する。
- ③入室を試みて、拒否された社員を記録する。
- ④部屋にいる人数を把握する。

ア. ①, ②, ③ イ. ①, ③ ウ. ①, ④ エ. ②, ③, ④

問題 7

インターネットでショッピングサイトに接続したとき、ブラウザに SSL 鍵マークが表示された。さらに、サーバ証明書が、目的のショッピングサイトの運営者のものであることを確認した。このときに判断できることはどれか。

- ア. このショッピングサイト運営者の財務状況は、安定している。
- イ. このショッピングサイトで注文した商品は、納品目ウイルス対策ソフトは、ウイルス検査を行うときにだけ起動する。
- ウ. 利用者が入力した個人情報などが改ざんされても、サーバ側で修正できる。
- エ. 利用者が入力した個人情報などは、途中経路で漏えいすることはない。